

当シンポジウム事務局は、11月25日榑築ルネッサンス主管の「榑築ルネッサンスフォーラム」23AUTUMN 古代三都物語2」（倉敷アイビースクエアフロールコート）を応援します。

第5回、定説への叛乱 in 岡山

—2023年、東京・岡山歴史交流シンポジウム 4年連続開催—

古代吉備国は定説の投馬国なのか？

定説外の邪馬台国なのか？

—古代日本の中心は畿内・九州よりも吉備にあった？

日時：10月28日（土）、29日（日）（2日間）

（10:00～15:30）、（10:00～15:30）

場所：県生涯学習センター（視聴覚室）

岡山市北区伊島町3丁目1-1 TEL(086)251-9750(代表)

- 車：JR岡山駅西口から約5分 山陽自動車道岡山ICから約10分（伊島小学校前を西進 つきあたり）
- バス：岡電バス JR岡山駅西口から中央病院線京山入口下車 徒歩8分（所要時間約13分）
- 徒歩：JR岡山駅西口から約25分（約1.7km）

（定員）：50名（先着順、予約なし）

会費：一般（一日2900円）、二日連続（4900円）

（女性・81歳以上の方・学生、他府県の方割引します）

*投馬国は丹波（丹後）か？ *難升米はヤマトトビモソヒメの義弟、彦狭島命か？
*女王国は今治（高縄半島）を中心とする四国か？ 古代奈良・河内は吉備の半植民地化か？ *纏向遺跡を築造したイリ王朝とは吉備（邪馬台国）王朝か？ *榑築弥生墳丘墓の被葬者は卑弥呼の母か祖母か？ *造山古墳の被葬者は宇佐人の応神大王か？ *鬼の城は斉明天皇の命令による天宮か？ 大廻り小廻りは両槻宮か？

主催：同交流シンポジウム実行委員会（東京・岡山）

協賛：岡山歴史研究会、東京古代史研究会

シンポジウム実行委員会事務局：〒108-0023 東京都港区芝浦4-8-12-110110
平山方

お問い合わせ：東京080-9654-2272 平山方、岡山090-2299-1021 津曲方

ホームページ：<https://senkodaishi.com>

(2日間のタイム・テーブル 変更有)

10月28日(土)		10月29日(日)	
10:00	挨拶(東京、岡山主催者)	10:10	講演 香川重善氏 〈香川の歴史とサヌカイトの謎〉
10:10	基調講演 出宮徳尚氏 (造山古墳倭国大王陵論そのII)	11:00	講演 岡 将男氏 (楯築弥生墳丘墓について)
11:10	講演 坂野忠司氏 (古代吉備国と秦氏の定説)	12:00	昼休み
12:00	昼休み	13:00	講演 平山牧人 神武大王の東遷の謎—神武大王は二人いた。
13:00	講演 山田良三氏 (秦氏の秘密と吉備の謎)	13:50	講演 富岡宏之氏 (鬼の城の謎について)
13:50	討論 坂野氏 対 山田氏	講演 中西厚氏 (大廻り小廻りについて)	
14:10	自由発言(会場)	討論: 富岡氏 対 中西氏	
14:40	緊急報告 平山牧人 難升米 吉備津彦異母兄弟 彦狭島論と今治松山女王国 について	自由発言(会場)	
		15:30	主催者 キャンパの呼びかけ

ご協力の皆さん(順不同)

岡山：古川克行氏(岡山桃太郎の会事務局長)、黒田晋・知恵氏(岡山県郷土史家)、岡田 博氏(前古代吉備文化財センター)、出宮徳尚氏(前岡山城天守閣専門員)、佐藤光範氏(岡山磐座研究家)、高木寛治氏(総社市磐座研究家)、合田憲隆氏(本隆寺住職)、津曲真人氏(熊山研究会)、小藪誠司氏(玉野市)、岡野進氏(熊山研究会会長)、谷山雅彦氏(総社吉備路文化館館長)、中西厚氏(大廻り小廻り研究家)、丸谷憲二氏(吉備国の語り部の会会長)、福本 明氏(岡山理科大学特任教授)、坂野忠司氏(秦歴史遺産保存協議会)

岡山他地域：香川重善氏(善通寺文化財保護協会会員)、河野 博氏(三豊市アート田んぼ主催者)、品川 清氏(大阪吉備歴史研究家)、松川忠嗣氏(日本桃太郎の会会長)、岩崎純一氏(日本大学芸術学部非常勤講師)、菊池秀夫氏(九州研究家)、川副秀樹氏(東京神社研究家)、前田 豊氏(東京古代史研究会名誉会長)、室伏志畔氏(幻想史学の会主宰・大阪)、下枝広明氏(渡来人研究会の会主宰・札幌)、山内雄二氏(徳島県歴史研究家)、大河内義雅氏(善通寺郷土館所長)、壺岐一郎氏(歴史家、日本徐福の会顧問)

後援：(岡山) 秦歴史遺産保存協議会、本隆寺(日蓮宗)、東京吉備(岡山) 歴史研究会、岩崎純一学術研究所(IJAI)、蔭涼寺(臨濟宗)

テーマ・内容紹介(順不同)

不滅の講師陣

出宮徳尚 氏	古代吉備国を語る会	造山古墳倭国大王陵論 そのⅡ
<p>造山古墳を倭国大王陵と評価する観点は、当シンポジウムの第二回で提起しているが、主題が「吉備の叛乱」であったために、簡略となっていた。今回は詳述を意図して、造山古墳の ①前段階における吉備の最大前方後円墳の展開、②倭国(前方後円墳体制)における同様、③墳丘形状が反映する特異性、④伴出遺物、⑤古墳群の形成、⑥立地環境、等の歴史的環境と状況要因の検証検討を主旨とする。その結果からは、所謂「吉備(地方)政権」論とする通説に従えず、倭国大王陵とする十分な状況証拠を析出できる。</p>		
板野忠司 氏	秦歴史遺産保存協議会・岡山歴史研究会・岡山歴史楽修塾 所属	古代吉備国から渡来人「秦氏」の定説を検証する
<p>渡来人秦氏については、高校教科書への記載はほとんど無く、歴史専門家の間でも見解は様々であり、依然として謎の部分が多い。定説化しつつあるのは、渡来時期は概ね5世紀、活動の実態は畿内、とりわけ京都・兵庫中心であり、その技術力をもって朝廷と融和的関係を築き、地元との文明的衝突も皆無という。九州・四国・中国(吉備)の秦氏も果たしてそうなのか? それほど美しい話が教科書に載らないのは、なぜなのか? 古代吉備国から秦氏を検証する考古学的方法はあるのか。</p>		
中西 厚 氏	上道地区の歴史を学ぶ会 熊山遺跡研究会	大廻小廻山城の謎について考える
<p>大廻小廻り山城から、古絵図に一の木戸と記された城門に流れ落ちる谷川は、大廻小廻り山城の麓の大明神川の源流であり、山城を取り巻く条理水田を潤している。 そして、一の木戸の水門を遡ると、古老が神ノ池と伝える池がある。 また、基輪、旧城戸界、旧寺院跡、四天王屋敷などと記された古絵図も伝えられている。</p>		
山田良三 氏	郷土歴史及宗教思想史研究家 岡山歴史研究会事務局長	秦氏の渡来はいつか? と盛衰の秘密が吉備と日本の歴史を解く鍵
<p>吉備の秦氏はいつ来たのか? 造山古墳の陪塚からは明らかに朝鮮半島南部由来のものが多く出土しており、造山古墳造営の時代に半島からの渡来人がいたことは明らかである。なかでも製鉄技術は半島南部の伽耶(加羅)との交わりとともに出雲(スサノヲ)ともかかわりがある。秦氏は金属加工や養蚕、土木技術など殖産の民であるとともに神祇に優れ、秦氏のかかわる宗教が日本の中心的宗教になっていった。半島と倭国との交流の中で、瀬戸内海の中央に位置している吉備児島は熊野権現の所領となり、瀬戸内海と讃岐地域の渡来系氏族の信仰の中心地となった。</p>		
富岡宏之 氏	岡山歴史研究会会員	古代山城と鬼ノ城
<p>西日本に多く存在する古代山城。山城の分布は山陰にはない。当時の倭王権の地域支配の重点地域と重なる。本当の歴史は、抹殺され、捏造されている。 鬼ノ城は、今は地域おこしや観光目的に変身しており、解明されていないことが多い。「城」で謎解きしてをしても、結論は城になってしまう。発想の転換が必要。 ・地形上から考察すると防衛施設とは考えにくい。・経山城築城時、なぜ鬼ノ城は利用されなかったのか。・「鬼ノ城縁起(温羅伝説)」の中にもヒントはある。</p>		

岡 将男 氏	楯築ルネッサンス副代表	吉備邪馬台国東遷説から見た、楯築遺跡と極東情勢
<p>楯築遺跡の発掘調査報告書などにより、吉備邪馬台国東遷説は一定の可能性があると分かってきた。楯築で始まった「墳丘墓造営体制」が箸墓古墳でほぼ完成されたとすれば、箸墓の築造年代は卑弥呼の亡くなった 247 年頃なのか、それとも晋の成立翌年の倭国使者の 266 年頃なのか。三国志時代を「資治通鑑」の詳細な翻訳を通して見直し、吉備邪馬台国東遷説との関係を大胆に語りたい。</p>		
香川重善 氏	善通寺市文化財保護協会会員	讃岐安山岩(サヌカイト)といにしへの讃岐民の稲作の謎
<p>初期稲作渡来の地・北九州の花畑遺跡や板付き遺跡(紀元前 10 世紀)で、サヌカイト(讃岐安山岩)石器が出土している。讃岐平野の遺跡では紀元前 8 世紀ころ北九州人と稲作の遺跡が、そして吉備の津島遺跡(弥生初期)稲作跡からは、サヌカイトや松菊里型土器片が、さらに河内平野にはサヌカイトを携えた讃岐民が稲作を伝えたなどの情報から、瀬戸内海の古代の交易と人の移動の謎を考える。</p>		
津曲真人 氏	楯築ルネッサンス 理事 熊山遺跡研究会 理事	卑弥呼は二度葬られた
<p>講演に当たり主催者から卑弥呼の墓について注文があった。それも吉備国内でという。定説への叛乱がこの会の主題である故の理と素直にお受けした。楯築弥生墳丘墓以外で卑弥呼が葬られた可能性のある遺跡は限られている。</p> <p>特に鬼道に繋がる古代の磐座の存在と楯築遺跡から見通せる場所が鍵となるはずだ、この条件をクリアできるのは一箇所だけある。しかしそこには巨大な。。そうか卑弥呼は二度葬られたのだ、二度目の墳墓はあの有名な箸墓古墳だ。</p>		
平山牧人	東京古代史研究会会長、叛乱シンポジウム呼びかけ人	難升米が吉備津日子の異母兄弟である事が分かり、吉備邪馬台国は強まってきた
<p>*投馬国は丹波(丹後)か? *難升米はヤマトトビモソヒメの義弟、彦狭島命か? *女王国は今治(高縄半島)を中心とする四国か? 古代奈良・河内は吉備の半植民地化か? *纏向遺跡を築造したイリ王朝とは吉備(邪馬台国)王朝か? *楯築弥生墳丘墓の被葬者は卑弥呼の母か祖母か? *造山古墳の被葬者は宇佐人の応神大王か? *鬼の城は斉明天皇の命令による天宮か? 大廻り小廻りは両槻宮か?</p>		
谷山雅彦 氏	現総社吉備路文化館館長 元 総社市教育委員会文化課長	鬼の城の敷石と石敷きについて
<p>古代山城の「鬼の城」では石が多用されている。城壁は土塁と呼ばれる土を突き固めたものが中心であるが、この城壁に沿って敷石が施されているため石が目立つ。「鬼の城」では城壁に伴うものを敷石、門道に設けられた石を石敷きと区別している。敷石は城壁の内・外に認められ、城内側では数段に施されている場所も確認されている。その状況から明らかに敷石は城壁保護のためのものである。敷石総面積は 1 万㎡を超え、古代山城では日本一の広さである。(紙上参加)</p>		